

9月1日、防災の日を
迎えるにあたって

防災・減災を考えた家づくり—— 耐震住宅専門 TOAHOME株式会社



9月1日は地震や津波、台風等の災害について認識を深める防災の日となっています。

2024年8月8日に発生した日向灘を震源とする地震により、南海トラフ巨大地震注意が呼び掛けられた事は記憶に新しく、“発生しなければ良い”から“発生前にどう備えるか?”へ思考の転換を迎えた方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。

TOAHOMEは松山の地で50年、土地開発と戸建て住宅をお引渡しさせていただきましたが、日々の技術革新の中で、より強靱な家づくりを提供し続ける事が私たちに課せられた社会的使命であると考えております。

また、低炭素で快適な住み心地の追求や現状のお住まいの耐震化など防災対策は新築に限った事ではありません。

私たちは「ありふれた日常を、素敵に。快適に。」というコンセプトを持ってものづくりを行っています。

災害によって当たり前が続く日常を奪われないように、家が一番安心安全な場所でありますように、

そう願ってこれからも大切な家を造り、守り続けます。

TOAHOME株式会社
代表取締役 濱崎 信

01 資産となる土地選び

災害に強い土地は資産価値が保たれます。土地選びの際には津波・土砂災害・洪水・内水等ハザードマップを確認することが防災・減災に繋がります。

02 「もしもの時」を考えた家づくり

私たちが木構造として標準採用している「耐震構法SE構法」は阪神淡路大震災の被害を教訓に縦横・上下方向の立体的な揺れと繰り返しの揺れに耐えるように開発されました。SE構法はこれまでに地震による全壊・半壊はありません。

03 低炭素で快適な暮らしかた

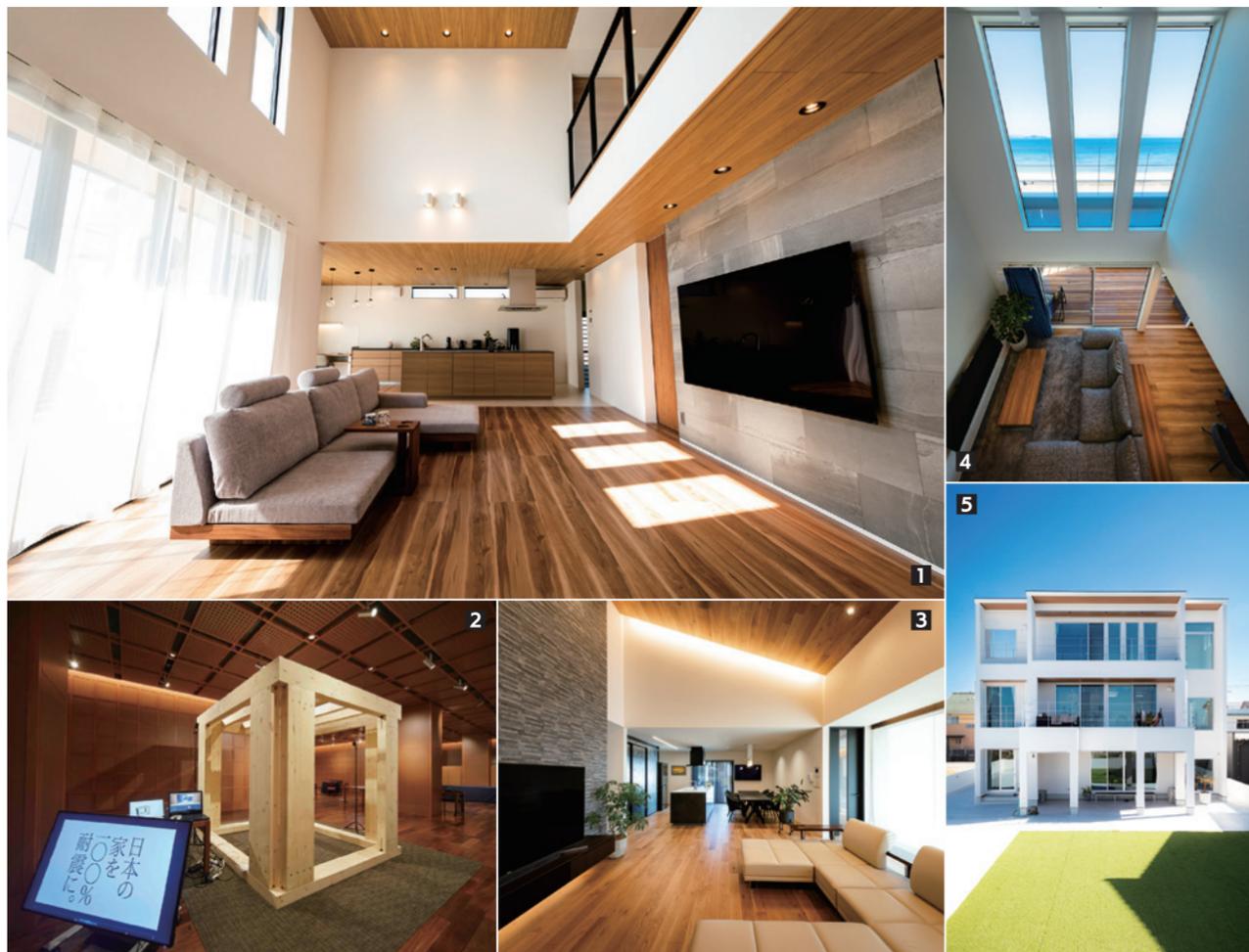
自然エネルギーを利用した設計手法がパッシブデザインです。電気使用量を最低限に抑え足りない電気を太陽光発電や買電でまかないます。停電時でも蓄電池があればいつもと同じような生活がおくれます。

04 既存住宅の耐震化

旧耐震基準等の住宅は耐震補強が効果的ですが、家屋の倒壊から一定空間を確保する装置として「耐震シェルター70K」があります。4.5帖～8帖の部屋単位の設置が可能です。

05 地震時の備蓄準備

太陽光発電のない既存住宅にはポータブル電源の活用や日頃から食料・水・簡易トイレなどの備蓄を日常的に確認することも大切です。



1 許容応力度計算による構造計算で大空間大開口でも耐震性能を確保 2 耐震シェルター70K 3 強靱(きょうじん)な木構造のため吹き抜けに火打ち梁がなく、すっきり 4 海が見えるSE構法のガレージハウス

毎週土・日曜に家づくりセミナー&相談会を開催

参加費無料

TOAHOMEでは、これから住まいづくりを始めるにあたり知っておいていただきたいこと、わからないことや疑問に思うことをわかりやすくお伝えするセミナー&相談会を開催しています。毎回1組様限定。お気軽にご来場ください(駐車場あり)。

【開催日時】 毎週土・日曜 10:00～、14:00～(平日も対応可)

【参加方法】 ご来場またはオンライン

【開催場所】 ご来場の場合TOAHOMEミーティングルーム



社屋は耐震構法SE構法の建物。太陽光発電・蓄電池を設置

TOAHOME株式会社は1974年創業。土地1,200区画・注文住宅860棟の実績。2024年に創業50周年を迎え本社を六軒家町から和泉北一丁目へ移転新築。それに伴い東亜ホーム株式会社からTOAHOME株式会社へ商号変更しました。

・グループ会社 株式会社濱崎組

大工や左官職人の人材育成に尽力して末永くお客様の暮らしに向き合える体制を整えています。

耐震住宅専門

TOAHOME

since 1974

TEL.089-915-6077

(受付時間8:30～17:30)

〒790-0038

松山市和泉北1-15-10



ホームページ



Instagram